

⑫ 公開特許公報(A)

平1-170498

⑤Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

④公開 平成1年(1989)7月5日

D 06 F 59/02

Z-6681-4L

審査請求 有 発明の数 1 (全5頁)

⑬発明の名称 衣類等の乾燥器

⑰特 願 昭62-328946

⑱出 願 昭62(1987)12月24日

⑲発 明 者 福 山 克 彦 東京都世田谷区世田谷1丁目34番17号 Kハイツ1号

⑳出 願 人 福 山 克 彦 東京都世田谷区世田谷1丁目34番17号 Kハイツ1号

㉑代 理 人 弁理士 福 岡 要

明 細 書

1. 発明の名称

衣類等の乾燥器

2. 特許請求の範囲

(1) 衣類等の被乾燥物を空気流によって乾燥させる乾燥体と、該乾燥体を支持する支持体とを備えていることを特徴とする衣類等の乾燥器。

(2) 乾燥体は、被乾燥物に衝合させる空気流を外部へ吹出す吹出体を備えていることを特徴とする特許請求の範囲第1項に記載の衣類等の乾燥器。

(3) 乾燥体は、被乾燥物を係止する係止体を備えていることを特徴とする特許請求の範囲第1項に記載の衣類等の乾燥器。

(4) 乾燥体は、吹出空気流を被乾燥物に衝合するように案内する乾燥体カバーを備えていることを特徴とする特許請求の範囲第1項に記載の衣類等の乾燥器。

(5) 吹出体は、空気流が供給される供給口を有する中空管状に形成されると共に、該空気流を外部へ吹出させる吹出口が多数設けられていること

を特徴とする特許請求の範囲第2項に記載の衣類等の乾燥器。

(6) 係止体は、吹出体の外側に突設されていることを特徴とする特許請求の範囲第3項に記載の衣類等の乾燥器。

(7) 係止体は、吹出体の外側に周設されていることを特徴とする特許請求の範囲第3項に記載の衣類等の乾燥器。

(8) 乾燥体カバーは、吹出体の外側に係止される被乾燥物を覆う形状に形成されていることを特徴とする特許請求の範囲第4項に記載の衣類等の乾燥器。

(9) 乾燥体カバーは、断面円弧状に形成されていることを特徴とする特許請求の範囲第8項に記載の衣類等の乾燥器。

(10) 乾燥体カバーは、被乾燥物が透視できる透明材から形成されていることを特徴とする特許請求の範囲第4項または第8項もしくは第9項に記載の衣類等の乾燥器。

(11) 乾燥体カバーは、被乾燥物が乾燥時に発

生する水分を発散させる逃がし孔が穿設されていることを特徴とする特許請求の範囲第4項または第8項～第10項の何れかに記載の衣類等の乾燥器。

(12) 吹出体は、伸縮自在に形成されていることを特徴とする特許請求の範囲第2項または第5項に記載の衣類等の乾燥器。

(13) 支持体は、伸縮自在に形成されていることを特徴とする特許請求の範囲第1項に記載の衣類等の乾燥器。

(14) 支持体は、乾燥体に連結されるステータ、該ステータの端部に連結される基盤とを備えていることを特徴とする特許請求の範囲第1項または第13項に記載の衣類等の乾燥器。

3. 発明の詳細な説明

<産業上の利用分野>

本発明は、衣類等の乾燥器に関し、特に雨天にあっては衣類を迅速かつ確実に乾燥し得る簡易な構成の衣類等の乾燥器に関するものである。

<従来の技術>

両方にて夫々別個に乾燥することで対応しなければならず、設備コストが多大となる他、設備スペースも増加し、しかも乾燥作業と維持管理が煩雑になるという問題点があった。

<発明が解決しようとする問題点>

このような従来技術の問題点に鑑み、本発明の主な目的は、空気流を被乾燥物に衝合させることにより被乾燥物を乾燥し得る構造とすることにより、狭い場所でも設置可能な省スペースタイプとなるように簡単な構造にし、同時に設備費を抑え、しかも維持管理を簡易にし得る衣類等の乾燥器を提供することにある。

<問題点を解決するための手段>

このような目的は、本発明によれば、衣類等の被乾燥物を空気流によって乾燥させる乾燥体と、該乾燥体を支持する支持体とを備えていることを特徴とする衣類等の乾燥器を提供することにより達成される。

<作用>

このように、本発明によれば、吹出口から外部

従来、梅雨時等の雨天時にあっては、洗濯物が乾き難いばかりでなく、布団の乾燥がし難く、不衛生となるという問題点があった。

そこで、従来衣類等の洗濯物に関しては、回転式等の衣類乾燥器を洗濯機と一体または別体にて設け、雨天時等の乾燥しにくい場合等にあっても、乾燥できるようにしていた。

また、布団等の大きな被乾燥物に関しては、梅雨時等の乾燥しにくい状況の場合には、ドライヤタイプの布団乾燥器や所謂布団乾燥車を用いて、乾燥するようにしていた。

しかしながら、前者(衣類乾燥器)にあっては、設置場所が限定され、さらに高価であるばかりでなく、皺がつきやすく、ワイシャツ等の外着の衣類の乾燥には不適であるという問題点があった。

また、後者(布団乾燥器)にあっては、乾燥に時間が掛り効率が悪いばかりでなく、ランニングコストが高価であるという問題点があった。

さらに、衣類等の洗濯物と布団の両者を乾燥させたい場合には、上記衣類乾燥器と布団乾燥器の

へ吹出す空気流を被乾燥物に衝合させることにより、被乾燥物を乾燥し得るため、衣類と布団の両者を衣類乾燥器と布団乾燥器の両方にて夫々別個に乾燥することなく、吹出体に突設された係止体に衣類を吊下げる等して係止し、かつ吹出体に周設されている係止体に布団を被せる等して係止して、単独の衣類等の乾燥器にて両者を同時に効率的に乾燥する要求に対応することができる。

すなわち、吹出体の供給口に熱風機やドライヤ等の空気流供給機器の吹出ダクトを連結させ、同機器を作動させることにより、空気流を吹出体の吹出口に連続的に供給する。

次に、該供給された空気流は、吹出体の吹出口から外部に吹出される。

つづいて、該吹出された空気流は、吹出体に突設された係止体に係止された衣類や布団等の被乾燥物に連続的に衝合する。

これによって、同衣類等は該空気流によって、迅速かつ効率的に乾燥される。

<実施例>

次に、本発明を添付の図面を参照して特定の実施例について詳述する。

第1図および第2図は、本発明に基づく衣類等の乾燥器の第1実施例を示している。

衣類等の乾燥器1は、衣類等の被乾燥物Aを空気流Bによって乾燥させる乾燥体2と、該乾燥体2を支持する支持体3とから構成されている。

該乾燥体3は、被乾燥物Aに衝合させる空気流Bを外部へ吹出す吹出体4と、該吹出空気流Bを被乾燥物Aに衝合させるべく案内するように構成されている乾燥体カバー5を備えている。

該吹出体4は、高温の空気流Bにも支障を生じないように耐熱性と耐腐蝕性のあるステンレススチールやアルミニウム等の金属材またはポリプロピレン等の合成樹脂材等からなり、熱風機やドライヤ等の空気流発生機器の供給ダクトCが連結されかつ該圧送された空気流Bが流入する供給口6を有し、かつ該流入する空気流Bが流過する空気流通路7が設けられた一端が閉塞された中空管状に形成されると共に、該空気流Bが被乾燥物Aに

向けて外部へに吹出される吹出口8が円形孔等の小孔に多数穿設されている。

また、上記乾燥体3は、被乾燥物Aに係止する係止体9を備えている。

該係止体9は、第1図に良く示されているように、衣類を吊下するハンガ等を係止しやすいようにフック状に形成されており、上記吹出体4の外側の下面に所定ピッチで多数個突設されている。

さらに、前記乾燥体カバー5は、高温の吹出空気流にも支障を生じないように耐熱性と耐腐蝕性のあるステンレススチールやアルミニウム等の金属材またはポリプロピレン等の合成樹脂材等からなり、吹出空気流Bを被乾燥物Aに衝合させるように案内すると共に、吹出体4の外側の係止体9に係止された被乾燥物Aを覆うように断面円弧状に形成されているおり、上記吹出体5の両端および中央の3箇所に固着することにより支持されている。

該乾燥体カバー5は、空気流Bが衝合することにより被乾燥物Aが乾燥時に発生する水分を発散

させる逃がし孔10が円形孔等の小孔に多数個穿設されている。

一方、前記支持体3は、被乾燥物Aの重量にも耐え得る充分な剛性を有する鋼材等の剛性材からなり、前記吹出体4の両端に固着される円管状のステー11と、該ステー11の下端に固着される円盤状の基盤12とからなり、前記吹出体4の両端を支持する。

次に、上記実施例の作用について説明する。
上記衣類等の乾燥器1によれば、吹出口8から外部へ吹出す空気流Bを被乾燥物Aに衝合させることにより、該被乾燥物Aを乾燥し得るため、衣類と布団の両者を衣類乾燥器と布団乾燥器の両方に分けて夫々別個に乾燥することなく、吹出体4に設けられた係止体8に衣類を吊下げる等して係止し、かつ同係止体8に懸架した物干杆等に布団を被せる等して係止して、単独の衣類等の乾燥器1にて両者を同時に乾燥する要求に対応することができる。

すなわち、まず吹出体4の供給口6に熱風機や

ドライヤ等の空気流発生機器の吹出ダクトCを連結させ、同機器を作動させることにより、空気流Bを吹出体4に連続的に供給する。

次に、該空気流Bは、吹出体4の吹出口8から外部に連続的に吹出される。

つづいて、該空気流Bは、衣類や布団等の被乾燥物Aに衝合する。

これによって、同衣類等の被乾燥物Aは該空気流Bによって、迅速に乾燥される。

このようにして、吹出体4の吹出口8から外部に連続的に吹出される空気流Bを被乾燥物Aに衝合させることにより、衣類等の乾燥器1によって、該被乾燥物Aを乾燥し得るため、天候に左右されることなく必要に応じて任意の時と場合に被乾燥物を迅速に乾燥することができる。

第3図は、本発明の第2実施例を示すものであり、係止体9は、上記第1実施例のようにフック状に形成して吹出体4の外側の下面に多数個突設することなく、短管状に形成して吹出体4の外側に周設されている。

従って、布団をより簡単に係止でき、しかも布団をより迅速に乾燥できる利点がある。

尚、吹出体4は、上記実施例のように円管状に形成する他、角管状や楕円管状その他の管状に形成することができる。

また、該吹出体4は、上記実施例のように非伸縮状の一本の円管状に形成する他、複数の円管を伸縮自在になるよう形成することができ、長さの調節が可能となりスペースの活用を図ることができると共に、非使用時のコンパクト化により省スペースを図ることができる利点があり、しかも被乾燥物Aの増大に対しては複数の円管を伸縮させることで対応することができ、被乾燥物Aの増減に対する柔軟性が高いという利点がある。

また、乾燥体カバー5は、上記実施例のように吹出体4の両端および中央の3箇所に固着することにより支持する他、吹出体4の両端および中央の3箇所に着脱自在に設けることができ、被乾燥物Aの種類に対応して効率的に乾燥を行うことができる利点がある。

4を2か所で支持する他、該吹出体4の長さに応じて3か所以上の多数箇所で支持することができ、乾燥体2をより安定的にすることができる。

さらに、支持体3は、上記実施例のように吹出体4を下方から支持して立設する他、該吹出体4を側方から支持側方に突設または上方から下方に吊設するように形成することができる。

また、前記ステー11は、上記実施例のように非伸縮状の一本の円管状に形成する他、複数の円管を伸縮自在になるよう形成することができ、高さの調節が可能となりスペースの活用を図ることができると共に、非使用時のコンパクト化により省スペースを図ることができる利点がある。

<発明の効果>

このように、本発明によれば、空気流を被乾燥物に衝合させることにより、被乾燥物を乾燥し得るため、衣類と布団の両者を衣類乾燥器と布団乾燥器の二つに分けて夫々別個に乾燥することなく、両者を同時に効率的に乾燥することができ、設備費および維持費が低廉となるばかりでなく、維持

さらに、乾燥体カバー5は、上記実施例のように非透明材から形成する他、被乾燥物Aが透視できる透明材から形成することができ、被乾燥物Aの乾燥管理をより効率的に行うことができる利点がある。

また、乾燥体カバー5と吹出体4との間には、吹出体4から吹出される空気流Bが衝合する整流板を設けることにより、該吹出体4から吹出される空気流Bが前記逃がし孔10へ直接流過するのを阻止して、吹出体4の上方から吹出される空気流Bが一旦整流板に衝合してから被乾燥物Aに衝合し、その後逃がし孔10を流過するようにして、被乾燥物の乾燥効率を向上させることができる。

さらに、乾燥体Aを支持する支持体3は、上記実施例のように吹出体4の両端に固着することにより該吹出体4を支持する他、吹出体4の両端に着脱自在に支持することができ、非使用時のコンパクト化により省スペースを図ることができる利点がある。

また、支持体3は、上記実施例のように吹出体

管理が極めて容易となる。

また、衣類等の被乾燥物をハンガ等にて干したまま乾燥できるため、皺がつきにくく、後作業が簡易であるという利点がある。

さらに、市販のドライヤや熱風機のごとき通常の家庭に常備されていることの多い汎用の空気流発生機を作動源として利用できるため、設備費および維持費が低廉となる。

また、空気流を直接衣類や布団等の被乾燥物に衝けて乾燥させるため、乾燥時間が短く、乾燥効率に優れており、しかも維持費が低廉である。

さらに布団等の被乾燥物が一様に乾燥されるため、乾燥品質に優れ、しかも被乾燥物の傷みが少ないという利点がある。

また、梅雨時等の雨天時にあっても、洗濯物の乾燥がし易く、しかも布団等の大きな被乾燥物も迅速に乾燥し得るため、任意の時期にいつでも乾燥でき、被乾燥物を乾燥的に維持することができ、保健衛生的に優れているという利点がある。

従って、乾燥品質に優れ、維持管理が極めて容

易となると共に、設備費用や維持管理費を極めて低廉にすることができるため、その効果は極めて大である。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明に基づく衣類等の乾燥器の第1実施例の主要部を示す一部断面正面図である。

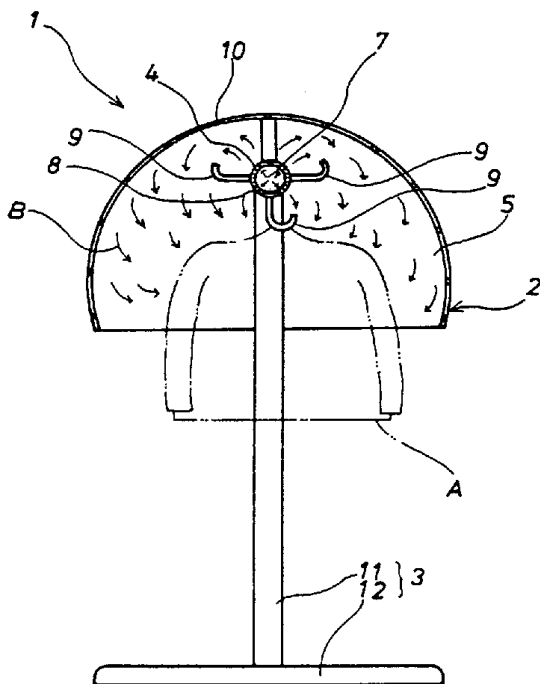
第2図は同実施例を示す側面図である。

第3図は本発明に基づく衣類等の乾燥器の第2実施例を示す主要部の中央断面図である。

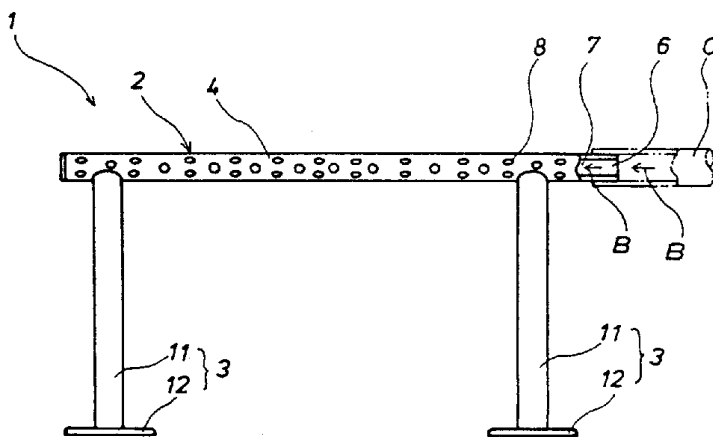
- | | |
|-----------|---------|
| A…被乾燥物 | B…空気流 |
| C…供給ダクト | |
| 1…衣類等の乾燥器 | 2…乾燥体 |
| 3…支持体 | 4…吹出体 |
| 5…乾燥体カバー | 6…供給口 |
| 7…空気流通路 | 8…吹出口 |
| 9…係止体 | 10…逃がし孔 |
| 11…ステー | 12…基盤 |

特許出願人 福 山 克 彦
代 理 人 弁 理 士 福 岡 要

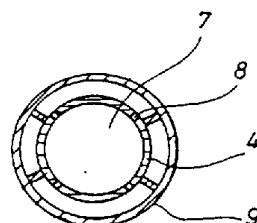
第 1 図



第 2 図



第 3 図



PAT-NO: JP401170498A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 01170498 A
TITLE: DRIER FOR CLOTHES AND THE
LIKE
PUBN-DATE: July 5, 1989

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
FUKUYAMA, KATSUHIKO	

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
FUKUYAMA KATSUHIKO	N/A

APPL-NO: JP62328946
APPL-DATE: December 24, 1987

INT-CL (IPC): D06F059/02

US-CL-CURRENT: 34/130

ABSTRACT:

PURPOSE: To dry clothes quickly and effectively by providing a drying device which dries the clothes by hot air flow and a pedestal which supports the drying device.

CONSTITUTION: A drier for clothes 1 consists of a drying device 2 which dries materials of clothes and the like (A) by air flow (B), and a pedestal 3

which supports the drying device 2. An outlet duct (C) of an air flow generator is connected with an inlet 6 of a blow-off pipe 4, and supplies the air flow (B) into the blow-off pipe 4. The air flow (B) is ejected from a diffuser 8 of the blow-off pipe 4, and is blown on the dried materials of clothes, bedclothes and so on (A). The dried materials (A), then, is dried. Since this drier thus dries the dried materials (A), it can dry them in all weathers.

COPYRIGHT: (C)1989,JPO&Japio